



平成19年5月11日

各 位

会社名 株式会社 きもと  
(略称 K I M O T O)  
(URL <http://www.kimoto.co.jp/>)  
代表者名 代表取締役社長 丸山良克  
(コード番号 7908 東証第一部)  
問合せ先 常務取締役  
経営企画本部長 山縣敏雄  
(TEL 03-3350-4704)

## 中期経営計画について

(2008年3月期～2010年3月期)

株式会社きもとは、当社を取り巻く経営環境の変化を踏まえ、持続的に成長する企業を目指し、このたび2010年3月期までの「第二次中期経営計画」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

### 概要

#### 1. 基本理念

当社グループは、世界に通ずる技術開発型の企業として、その時代、時代に為し得る最高の専門技術と、最高の製品・商品ならびにサービスを内外の顧客に提供し、企業の発展を通じて、顧客・株主ならびに従業員の満足を得ることを旨としております。

また、善き企業市民として、地域の発展と繁栄に寄与し、環境の保全に努め、未来に向けて社会と共に前進する企業であることを目指しております。

#### 2. 長期経営ビジョン

- (1) 当社グループは、表面加工技術を基軸に機能性材料のリーディングカンパニーを目指す。
- (2) 当社グループは、事業の革新と拡大に努め10年後(2017年3月期)の売上高500億円を目指す。

#### 3. 第二次中期経営計画の基本方針

当社グループは、持続的な成長を図るため、発展の著しい市場および地域に自社製品を中心とした積極的な事業展開を行うとともに、グループ各社の役割を明確化して連結会計を意識した企業統治を強化してまいります。また、社内の連携を一層強め、毎年更新する技術ロードマップに沿って、新製品、新市場、新規顧客の3N(NEW)

を推進し、2010年3月期に新規開発品の売上高50億円を目指します。

また、成長著しい海外市場へ販売を強化することにより、同期において海外売上高比率25%以上を目指します。

当社グループは、売上高比率95%（2007年3月期）を占める機能性フィルム事業部門および同5%の情報システム事業部門の2事業部門で事業展開を行っております。

機能性フィルム事業部門では、新市場開拓、新製品開発を推進し、より収益性の高いビジネスを創出することにより、事業の再構築を推進してまいります。

情報システム事業部門では、効率的な生産体制の構築と原価の低減を図り、利益確保を最優先課題として取り組み、さらに他社商品との差別化や新しいビジネスモデルの開発により、地方自治体を中心とする官公庁に対して新たな提案を行うとともに、成長の期待される民間市場に事業展開を図ってまいります。

#### 4. 中期経営目標

当社グループの中期経営計画において目標とする指標は以下のとおりです。

	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期
売上高（百万円）	28,700	30,000	31,400
経常利益率（%）	9.2	9.3	10.0
ROE（%）	8.5	8.5	9.0

## 施策

### 1. 機能性フィルム事業部門

#### (1) 基本方針

当社グループは、中核となるFPD市場、工業材料市場において新製品開発を強化するとともに、環境、エネルギー、アメニティーなどの新しい市場に向けた新事業、新製品の開発にグループを挙げて取り組み、企業価値の向上を目指します。

#### (2) 重点施策

- ① 2007年6月に中国上海地区に現地法人を設立
- ② 2007年12月にポーランド工場を新設し稼動
- ③ 全社的な3Nへの取組みを強化し新事業・新製品開発を促進
- ④ 北米、欧州市場における自社製品販売を強化

## 2. 情報システム事業部門

### (1) 基本方針

当社グループは、情報システム事業を将来需要が拡大する事業と位置づけ、収益構造の見直しを図り、利益確保を目指します。

### (2) 重点施策

- ① 重点事業の強化（地籍調査、光通信関連）
- ② 生産性向上とコスト削減
- ③ 情報通信をはじめとする民間市場の開拓

## 3. 利益管理

### (1) 基本方針

当社グループは、経営の基盤強化と効率化を推進し、適正な利潤の確保とフリーキャッシュ・フローの増大に努めます。

### (2) 重点施策

- ① 連結子会社の目標管理徹底によりグループの内部統制を強化
- ② 事業部門の利益管理機能を強化
- ③ 製造原価、販売管理費の継続的削減

## 4. 基盤技術の拡充

### (1) 基本方針

当社グループは、市場ニーズに応える製品創りを強力に推進するため、基盤となる技術の中を広げ、長期経営ビジョンの達成を目指します。

### (2) 重点施策

- ① 技術ロードマップの継続的な検討と課題のスピーディーな実現
- ② 高いレベルで特徴的な製造設備および製造方法を実現

## 5. 人材育成の推進

### (1) 基本方針

企業の発展は従業員の「人財」（意欲・能力・知識）に大きく依存するとの認識から、人的資源のグレードアップを積極的に行うことにより企業価値の増大と従業員満足度の向上を目指します。

(2) 重点施策

- ① 自律型学習の構築
- ② 働きやすい職場づくり

6. 社会貢献

(1) 基本方針

企業理念の実現がすなわち社会貢献であり、当社グループの発展とステークホルダーの幸せにつながるとの認識から、積極的に活動を行ってまいります。

(2) 重点施策

- ① CSR活動のグループ全社への拡大
- ② 特徴ある社会貢献の実現

以 上